

佐藤裕郁先生への質問と回答

	<p>多頭飼育者の見守りチームの見守り頻度は、定期訪問なのか。一時減っても再度増やす傾向がある方が多頭飼育者の特徴と考えているが、防げた事例などあれば。</p>
1	<ul style="list-style-type: none">・見守りの頻度や方法については事例ごとに異なりますが、例えば定期訪問については、福祉関連業務での訪問の際に、ペットの飼養状況を確認するなどの対応をしています。・多頭飼育崩壊の対応済事例について、再度崩壊に至る事例は現時点では少ないことから、一定の効果はあると考えております。

	<p>今後は犬・猫以外も対応することが増えるかもしれない。神奈川県センターでは現段階でどのような取り組みがされているかや、新しくなった施設の中で対応できる部屋の有無。</p>
2	<ul style="list-style-type: none">・犬・猫以外の不適正な多頭飼育崩壊対策に関する現段階の取り組みとしてはイベントなど多くの方が集まる機会での地道な啓発をしています。・また新しくなった施設では、小動物室はあるもののスペースには限りがあるため、一度に多くの動物が収容された場合は、SNS等を活用した譲渡の推進が重要と考えています。